

港湾・漁港用 車止め

ハイブリッドガード



未来航路株式会社

<http://www.miraikouro.co.jp/>

ハイブリッドガードは、角形鋼管とコンクリート



特長と効果

ハイブリッドガードは、角形鋼管にコンクリートを充填しハードな荷役環境下においても車止めとしての高い安全性を長期間維持できる車止めです。

- 1 車止め本体を2本のアンカーボルトで固定！**
固定部はコンクリートを充填してもメンテナンスが容易なスリーブ構造。

アンカーボルトの固定部にはコンクリートが充填されないよう角型のスリーブ管を内蔵。メンテナンス時にも簡単に取替えが行えます。

- 2 反射シールを標準装備で夜間の視認性No.1！**
天端スベリ止め塗装・不陸調整用緩衝材も標準仕様。

荷役作業の安全性と夜間の視認性を高めます。
アンカーボルト固定部の底面に不陸調整用の緩衝材がセットされています。



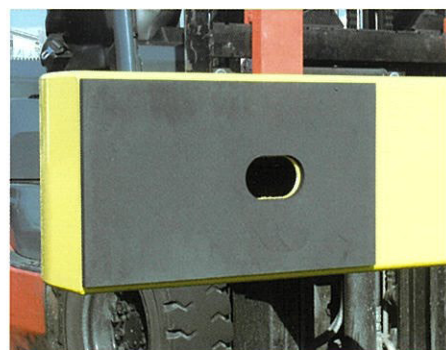
内部の角型スリーブ管



反射シール・充填口用蓋



スベリ止め塗装（天端面）

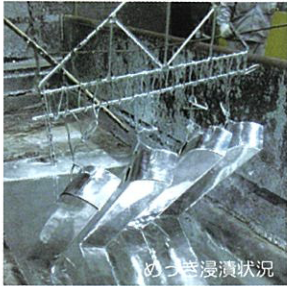


不陸調整用緩衝材（底面）
※材質はポリエチレン発泡体

の強度を合わせ持った超高強度の車止めです。

仕 様

ハイブリッドガードは、熔融亜鉛めっき + 3層塗装でサビに強い防食仕様の車止めです。
入念な品質管理で、ハイクオリティな製品をお届けします。



■ JIS規格の中でも最も高基準の“HDZ55”を施しています！

この仕様は熔融亜鉛めっき処理の中でも過酷な腐食環境下で使用される鋼材に施されるめっき処理で、海岸地帯でも強い防錆能力を発揮します。

■ 3塗装で防食効果がさらに飛躍！

下塗り・中塗りには密着性の高いエポキシ樹脂塗料、上塗りには耐候性に優れたポリウレタン樹脂塗料を施しています。

■ 入念な品質管理で、ハイクオリティな製品をお届けします！

製品には全て管理番号を記載して、全数の寸法検査と、5基に1基の膜厚測定を行っています。

【 塗装仕様書 】

工 程	仕 様	標準膜厚
1 熔融亜鉛めっき (JIS H 8641)	HDZ 55 (550 g/m ² 以上)	76 μm 以上
2 下塗り	亜鉛めっき面用 エポキシ樹脂塗料	50 μm 以上
3 中塗り	鋼構造物用 エポキシ樹脂塗料	30 μm 以上
4 上塗り	鋼構造物用 ポリウレタン樹脂塗料	30 μm 以上
累計膜厚		186 μm 以上



取付手順

車止め本体を固定し、コンクリートを充填、蓋をするだけで施工完了。



①車止め本体を設置



②車止め本体を固定



③固定孔に天端キャップを取付け



④充填口よりコンクリートを充填



⑤充填口用蓋を落とし込み



⑥コンクリートのろを清掃して施工完了

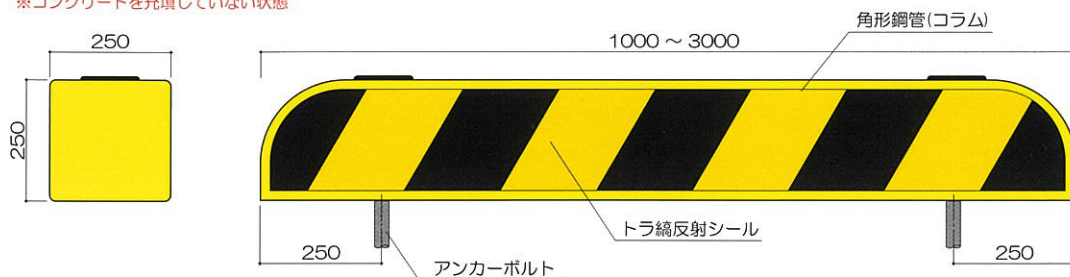
標準図

標準長さは1000mm ~ 3000mm。
最大寸法は4000mmまで自由な長さでオーダーできます。

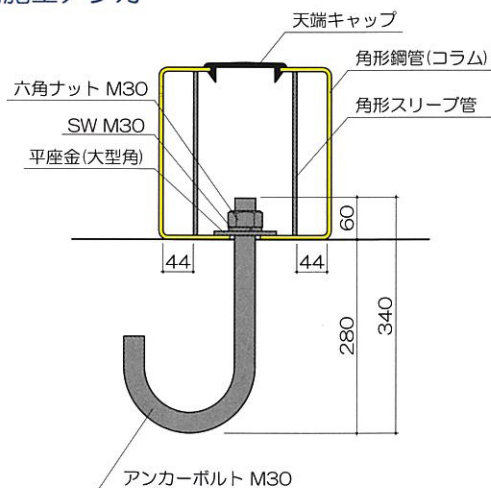
■HG250

材質：STKR400もしくはBCR295 (t6)

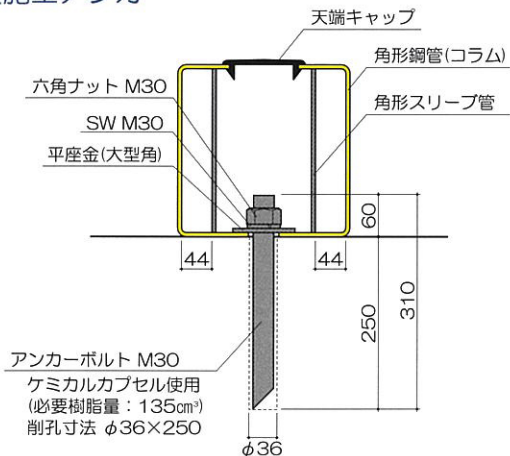
重量：45.2kg/m ※コンクリートを充填していない状態
(3m ≒ 135.6kg)



■先施工アンカー

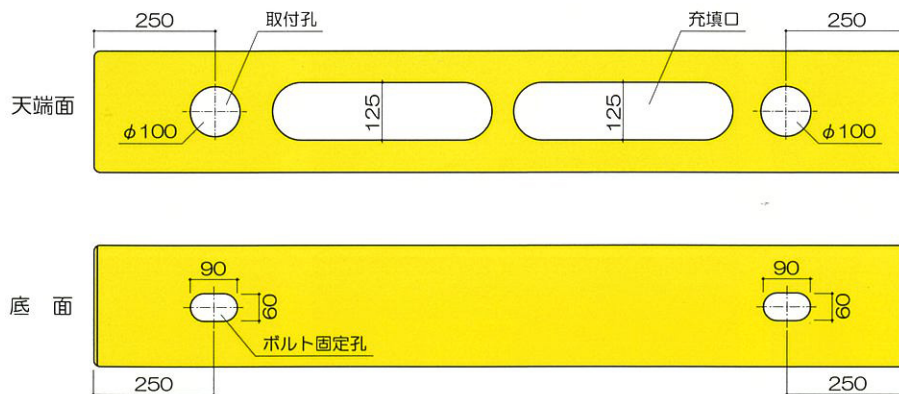


■後施工アンカー



※ ボルト・ナット・座金類は全てドブめっき仕様です。

■取付孔・充填口寸法



価格 価格については、当社又は販売代理店にお問い合わせください。

納期 注文後 約60日。(仕様によって異なりますので、詳しくは当社又は販売代理店にお問い合わせください)

その他 本書は2014年6月現在のものです。

仕様等は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。本書と実際の色は印刷の関係上若干異なる場合があります。

本書の記載事項、写真の無断転載を禁じます。